

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/08/29号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

FRB議長「タカ派」演説でリスク資産売り

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



金曜日日本時間23時注目のJackson Holeでのパウエル議長の基調講演を前にして、ゴールドは比較的静かなマーケットでしたが、その時間が近づくに連れてポジションスクエアリングの動きで上昇していきました。そして肝心の議長の基調講演は、マーケットの予想以上に「タカ派」的な発言となりました。

"While higher interest rates, slower growth, and softer labor market conditions will bring down inflation, they will also bring some pain to households and businesses. These are the unfortunate costs of reducing inflation. But a failure to restore price stability would mean far greater pain," he said. "Without price stability, the economy does not work for anyone."

「インフレを抑え込むためには、高金利、経済成長の鈍化、雇用の悪化等痛みが伴うが、それでも価格の安定を第一にしなければならない」というインフレ対策を強調、これを受けて、いわゆるリスクアセット、株、貴金属、暗号資産が一斉に売られました。上がったのはドルだけでした。ゴールドは1750ドル近辺から1737ドルまで下げて一週間が終わりました。米国の株式市場は軒並み3%を超える下げとなり、さらに売りが続くようであれば、ともにゴールドも売られる可能性があります。ただ、リスク資産からの資金逃避が続くようだと最初に物色されるのは安全資産としてのゴールドだと思います。ゴールドが1800ドルを割ってから、中国の現物買いが増加しており、上海黄金交易所のプレミアムが15ドルまで上昇しており、キロバーの供給が追い付いていないほどの需要があり、ここから下がるにしてもゴールドは下値は限られるのではないかと考えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

ゴールド以外の貴金属-PGM9

「PGMマーケット」

PGM (Platinum Group Metals) には、プラチナ、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、イリジウム、オスミウムの6メタルがあります。この中で投資家が取引できるマーケットが存在しているのはプラチナとパラジウムだけであり、その他のメタルは基本的に生産者（鉱山会社と精錬会社）と需要家（自動車会社や触媒メーカーなど）との間で直接または銀行や商社を中継した長期売買契約での取引が一般的です。そのためここではプラチナとパラジウムのマーケットに関して解説したいと思います。プラチナとパラジウムはほかの貴金属であるゴールドとシルバーと基本的に同じ仕組みで取引されています。

1. スポット・マーケット - Loco London/Zurich

Gold/Silverと全く同じく、ロンドンとチューリッヒのクリアリングバンクにプラチナ、パラジウムの口座を開設し、そこでメタルのやり取りを行う取引です。これもゴールドやシルバーと同じく実際の現物が動くわけではなく、記帳上の付け替えで行われます。ただこれもゴールドシルバーと同様に実際に現物が必要な場合は、紐付けをして現物を引き出すことができます。もちろんそのコストを払う必要があります。以前はゴールドとシルバーはLoco London、プラチナとパラジウムはLoco Zurichとそのクリアリングはロンドンとチューリッヒと別々でした。クリアリングバンクは、UBSそしてCSといったスイスの銀行でした。現在はプラチナやパラジウムもLoco London accountが開設され、両方で取引されています。特別な事情が無い限り、London/Zurichの関係は同価値つまり、同じ価格で取引されることが多いです。歴史的にはPGMでもLoco Londonがメジャーなものとなってきたのはここ数年です。少なくとも5年くらい前まではゴールドとシルバーはLoco London、プラチナとパラジウムのPGMはLoco Zurichというのが標準でした。（続く）



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレージャー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することによるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

